



# コスモスだより

独立行政法人 地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

令和4年11月発行  
編集:天草中央総合病院広報委員会

## 街のにぎわいが戻りました

院長 芳賀克夫

すがすがしい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。商店街には外国人の旅行者も増え、賑わいも戻ってきました。お祭りやスポーツイベントなども盛んに行われています。長かったパンデミックの生活から徐々に開放していくように思えます。このような日常をみると心が休まります。

新型コロナウイルス感染症の流行はこの後どうなっていくのでしょうか。来年1月には第8波の流行が訪れるとの予測があります。この第8波を大きなものにしないためにも、2価ワクチンを打っておきましょう。このワクチンを打っていると、新型コロナウイルス感染症にかかった場合、症状が軽く収まることが期待されています。まだ打っていない方は、遅くとも12月末までに打ってください。今のうちに多くの方がワクチンを打っておけば、第8波は大きなものとはならないでしょう。

新型コロナウイルス感染症の特徴として分かっていることは、①非常に感染力が強いこと、②症状が出る前からウイルスが排出されること、③ワクチンを打っても数ヶ月で免疫が落ちていくこと、などがあります。①に関しては、インフルエンザよりもはるかに感染力は強いです。同じ部屋にいただけでも感染は成立します。②が最も厄介なことで、いわゆる無症状者からもウイルスが排出されることがあるのです。これを防ぐことは本当に難しいです。人との距離が取れないときは、お互いマスクをすることが大事です。③については、当面半年ごとにワクチンを打っていくしかないと思います。

このように考えていくと、新型コロナウイルス感染症とは、長く付き合っていくことになりそうです。残念ながら、数年は感染を繰り返していくと思います。噴霧型のワクチンや新たな飲み薬が開発されれば、状況は変わるかもしれません。その日が早く来ることを祈っています。



独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院  
〒863-0033 熊本県天草市東町101番地  
TEL 0969-22-0011 FAX 0969-24-2105  
ホームページアドレス <http://amakusa.jcho.go.jp>

## 《リハビリテーション科の紹介》

入院から在宅生活へ、医療から介護福祉へ「切れ目の無いリハビリテーションサービスを提供し、患者様とご家族に信頼され、地域に必要とされるリハビリテーション」を目指しています。

リハビリテーションの療法士は理学療法士7名、作業療法士3名、言語聴覚士1名が在籍し、整形外科、外科、呼吸器科、がん患者へのリハビリに取り組んでいます。特に3学会認定呼吸療法認定士、がん患者リハビリテーション研修修了者が在籍し、専門的なリハビリテーション提供を行なっています。

特に、令和2年度より整形外科診療が開始され、下肢・上肢・脊椎（令和3年度当院手術件数419件）の術後リハビリテーションを翌日より開始しており、機能・能力の低下を防ぎ速やかな生活の場へ退院が出来るように取り組んでいます。更に、スポーツ外傷（令和3年度当院手術件数8件）のリハビリテーションにも対応し、クラブ活動での学生等への治療・訓練機会も増加しています。

また、熊本県より天草地域リハ広域支援センターの委託事業を受けており、地域リハビリの推進のため、研修会・連絡協議会開催や密着リハ支援、運動教室・勉強会等の講師派遣等を行い、地域リハビリ関係者との連携を図り、地域の皆様が「その人らしく、地域で生活が送れる」ように支援しています。

今後も、医療的リハビリから地域リハビリへ包括的な視点を持ち、共に多職種と協働し質の高いリハビリテーション提供に努めていきます。



## 第7回JCHO地域医療総合医学会が 開催されました

2022年10月21日（金）22日（土）に熊本城ホールにて第7回JCHO地域医療総合医学会が開催されました。今回は熊本市で開催され、当院からもワーキングの座長や発表者として、多くの職員が参加しました。詳細につきましては、次号で報告させていただきます。



## 第5回緊急輸血シミュレーション訓練を実施しました

産婦人科 神尾未紗希

生命を脅かすような分娩時あるいは分娩後の大量出血は、妊産婦300人に約1人の頻度で発生し、その多くは分娩前の予測が困難です。また、産科出血は、一般手術などの出血と比較して急速に全身状態の悪化を招きやすく、中等量の出血でも容易にDIC(播種性血管内凝固症候群)を併発することから、輸液と赤血球輸血のみでは希釈性の凝固因子低下を招きDICに伴う出血傾向を助長させます。このため、直ちに赤血球輸血を開始することが必要ですが、産科出血の特徴を考慮し、赤血球と同量程度のFFP(新鮮凍結血漿)の投与も重要とされています。

今回、2022年9月5日に第5回緊急輸血シミュレーション訓練を実施しましたのでご報告致します。本年度も、常位胎盤早期剥離による大量出血で搬送されてくる妊婦さんを想定した内容に加え、COVID-19の流行が未だ収束しない時世でもあることから、患者さんがCOVID-19感染者である可能性を考慮し、搬送ルートや医療スタッフの対応の再確認を行いました。実際の現場を想定して迅速に輸血製剤を準備し、投与を開始することができましたが、医療スタッフ間での連絡漏れや新たな課題なども見付き、対応を再確認するきっかけになりました。また、感染対策をしながら産科出血の対応をすることの難しさを改めて痛感しました。

本訓練は2018年から毎年実施されていますが、実際に本訓練が臨床現場で活かされた症例もあります。今後もより安全な医療を提供できるよう、今回の輸血シミュレーションを振り返り、改良していきたいと思えます。



## 医療安全研修会を開催しました

医療安全管理室 山本美智子

令和4年9月16日、今年度第1回目の医療安全研修会を開催しました。講師は当院の芳賀克夫院長で、テーマは「ヒューマンエラー」についてでした。

ヒューマンエラーとは人間の特性によって引き起こされるエラーのことです。具体的に言うと、「見間違い」「聞き違い」「言い間違い」「思い違い」「覚え違い」「やり違い」「錯覚」「うっかり・ぼんやりなどの不注意」などによるエラーのことです。

今回、40名弱の職員の参加がありました。参加できなかった職員は後日、研修の録画ビデオを視聴してもらい、職員全員が参加できるような形式をとっています。

当院では、このような医療安全の研修を年に2回程度定期的で開催し、医療安全文化の醸成に努めています。



## 《新任医師のご紹介》

さきさか さなよ  
産婦人科 匂坂 紗乃代

2022年10月より産婦人科に赴任いたしました、匂坂紗乃代と申します。熊本大学を卒業し、これまでは熊本大学病院や、熊本市内の病院で勤務しておりました。天草での勤務は初めてですが、とても良いところと聞いており、楽しみにしております。3ヶ月と短い期間ではありますが、天草の医療に貢献できるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 【研修医を受け入れました】

済生会熊本病院 初期研修医 宮菌裕子

8月より1か月間、産婦人科で研修をさせていただきました宮菌裕子と申します。外来、手術、分娩等、様々なシチュエーションに関わらせて頂きました。先生、看護師の方々をはじめ、病院関係者の方々があたたかく迎えて下さり、研修修了が近づくにつれ寂しい気持ちにさえなりましたが、皆様ならびに患者様のご厚意により、多くの学びを得た1か月となりました。心より感謝申し上げます。今後も研鑽を積み精進して参ります。



せんしょうえい

済生会熊本病院 初期研修医 詹翔叡

9月から約1か月間、産婦人科研修で診療に携わらせていただきました詹翔叡と申します。外来診療、病棟診療、お産、手術、健診など幅広く経験させていただきました。私が所属する済生会熊本病院は産婦人科がなく、お産のお手伝いをさせていただいたのは初めてでした。不慣れな点もありましたが、指導医の先生方、看護師さん、助産師さんにご指導いただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。



## 【栄養管理室に実習生を受け入れました】

熊本県立大学環境共生学部環境共生学科  
食健康環境学専攻三年 植田 凜

この度は新型コロナウイルスが流行しているという厳しい状況の中、実習生として受け入れて下さりありがとうございました。今回の実習では、学校の授業では見ることのできない栄養指導の様子や実際の症例などを見学させていただきとても良い経験になりました。外来栄養指導では時間が限られている中で有意義な栄養指導を行うためには、事前に患者さんに関する情報収集をしておく必要があると感じました。栄養指導をするうえで、生活習慣病などの疾患について理解しておき、話を聞きながらどこが改善できるのかを考え、一人一人にあった指導を行うことが大切であることを学びました。回診では医師の先生や看護師の方たちと患者さんのところを回り、患者さんの様子を実際に見ながら最適な栄養方法について話し合い、決定されていきました。患者さんが病気を早く治すためには食事を食べて栄養をしっかりとってもらうことが重要であり、そのためには食形態を変更する、食事の量が不十分な時には栄養補助食品を付けるなどの工夫が必要だと感じました。回診や栄養指導を見学させていただく中で、現場でしか学ぶことのできない栄養指導の仕方や他職種との連携などを学ぶことができ、大変貴重な経験をさせていただきました。栄養管理室の先生方をはじめ、ご指導してくださった先生方、2週間という短い時間でしたが本当にありがとうございました。

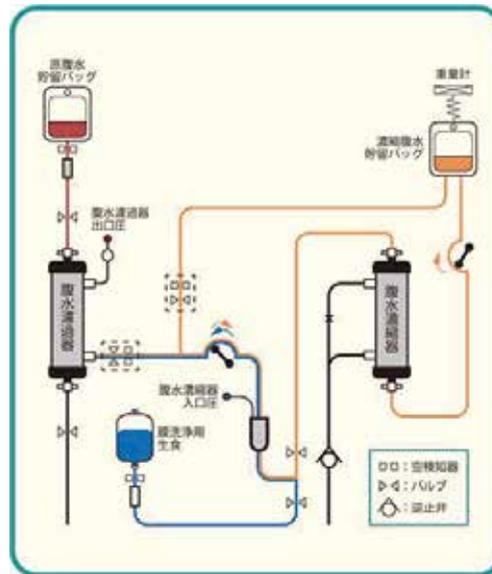


## 新しい医療機器を導入しました

医療機器管理室 臨床工学技士 津田祐一

● プラソートμ (CART専用機)が入りました。

CART(腹水濾過濃縮再静注法)とは、腹水症の患者から取り出した腹水を腹水濾過器で腹水中の細菌及びがん細胞等を除去し、腹水濃縮器でアルブミンなどの蛋白質を濃縮し、患者自身に再静注する治療です。当院では、緩和目的による使用例が多く、CART実施にて全身・栄養状態の改善により患者のQOLが向上し、自己蛋白を使用することで、アルブミン製剤の節減や未知の病原因子による感染症のリスクを軽減することが可能と思われま



(画像提供: 旭化成メディカル)

● インキューi(閉鎖式保育器)が新しくなりました。

赤ちゃんを優しく包み、育む医療機器が入りました。閉鎖式保育器の役割である、保温・加湿・酸素投与・感染防止・観察・騒音対策を備えた機器を用いて赤ちゃんにより静かで快適な環境を提供しています。

同時に、上下2面照射が可能な光線療法治療器(ビリセラピー)も追加導入しました。



(画像提供: アトムメディカル)

● トリロジーEvoO2(搬送用人工呼吸器)が新しくなりました。

今回、導入致しました装置ですが、新型コロナウイルス感染症に対しても安全に使用できるように装置本体にはHEPAフィルタ、吸気呼気側にバクテリアフィルター、そして人工鼻仕様の回路構成とし、これまでよりも飛散防止が可能となりました。また、15時間使用可能なバッテリーを搭載し救急搬送や災害時対応の充実を図りました。



(画像提供: フィリップスジャパン)

これからも患者様に、質の高い安全な医療機器を提供できるよう努めて参ります。

厚生労働省からJCHO本部に対して、新型コロナウイルス感染症の拡大地域への看護師派遣要請がありました。当院からは、5月に沖縄県立中部病院に1名を派遣し、今回、2回目の要請に対して、9月1日から9月15日まで沖縄県の施設に1名を派遣しました。

## 沖縄県への広域派遣を終えて



2階病棟 助産師 友尻眞樹子

私が配属されたのは、新型コロナウイルス感染症患者のみ(中等症～軽症)が入院する施設で、救急外来、急性期から慢性期、社会的入院まで幅広く対応する機能を有していました。コロナ病棟におけるレッドゾーンでの看護業務が主な業務で、自宅療養者の健康相談対応17時から24時という業務もありましたが、そちらは現地スタッフが担当されていました。

### 印象に残っていること1:患者高齢度合いとレッドゾーンでもリハビリ

患者さんは90歳代前半が当たり前で、100歳近くならないと高齢だなと感じませんでした。入院すると、すぐに動けなくなるとのことで、レッドゾーンでもリハビリを行われていました。毎日3人のPT(理学療法士)が交代しながら2人1組でレッドゾーンに入り、リハビリを行われていて、自宅への退院がスムーズに行えるように取り組まれていました。

### 印象に残っていること2:現地スタッフも患者さんも優しい

人にも業務にも慣れず、物の場所やゴミの捨て方も分からない環境で緊張しながら業務を行っていたので、沖縄の方の優しさに救われました。私は今年、プリセプターをしています。新人さんの気持ちを少しでも分かる様にと派遣に参加した意図もありました。すべて分かる事は無理でも「こんな気持ちだったな」と感じたことを忘れずに、そして優しい対応に救われた事を忘れずにいたいと思いました。

### 印象に残っていること3:蒸し暑くて台風ばかり

気温も高いのですが、80～90%の湿度が、PPE(防護具)で動くときにとっても暑くて、大変でした。台風がずっと停滞していたのでよけい湿度が高かったです。この施設は元々、体育館にベッドを置いて対応していた施設を、プレハブ4棟を収容できるように開設した施設でした。音がすごく台風の際は怖かったです。

厚生労働省から看護師派遣要請を受けた各病院(日赤、NHO、済生会、JCHO)から派遣された看護師の方々と、沖縄で一緒に働きました。様々な施設から、テキパキとした方々が集まっていました。こんな機会は、滅多にないのでたくさんお話を聞きたかったのですが食事はもちろん黙食ですし、職場でしゃべる事しかできませんでした。しかし、仕事を一緒にしたことでもとても勉強になりました。



## 《 新人職員の紹介 》

看護師 松本 帆風

4月から新しく入職しました。松本です。出身は熊本市内で以前は市内の病院で准看護師として勤務していました。現在は外来に配属されており、少しでも早く自立できるように日々頑張っています。趣味は釣りやキャンプ、サーフィンなどアウトドアが大好きです。ぜひ良いポイント等あったら教えてください。これからよろしくお願いします。



看護師 前森 萌菜

手術室に配属されました前森です。上天草市出身で他病院に2年間勤務していました。手術室では新たに覚える特殊な手技が多く不安になる時もありますが、周囲の方々の指導や助言に支えられ毎日一生懸命励んでいます。どうぞよろしくお願い致します。



看護師 田原 佑花

今年度の4月より、3階病棟に配属となりました田原佑花です。現在病棟では、日勤帯で、清潔ケアや処置、入院受けや部屋持ちをさせて頂いています。私は、まだまだ経験も浅く、分からないことが多くありますが、プリセプターを中心に病棟の先輩方からの丁寧なご指導のもと、日々知識・技術の習得に努め、1日1日を大切にしながら成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



看護師 武田 彩花

4月から3階病棟で勤務しています。現在は、日勤帯で清潔ケアや処置、患者受け持ち、入院受けを行っています。先日、ローテーション研修を終え、自部署では学べない様々な技術や関わり方を学ばさせていただきました。分からないことも多く、まだまだ未熟な所が多々ありますが、先輩方からご指導いただきながら、自分の理想の看護師となれるよう努めます。よろしくお願いします。



総務企画課 中俣 壱平

天草中央総合病院総務企画課に配属されました中俣壱平と申します。入職してしばらく経ちましたが、周りの方々に恵まれ楽しく仕事に取り組んでいます。私は、大学までスポーツをずっと続けてきたので、忍耐強く頑張っていきたいと思えます。



医事課 松岡 伽奈

4月から新しく入社しました事務職の松岡伽奈と申します。大学では主に簿記などの商業について学んでいました。医療に携わることが初めてなので、分からないことばかりですが、1から医療の知識を身につけて頑張ります。よろしくお願いいたします。



医事課 内木場 瑞冬

4月より医事課に配属されました、内木場瑞冬と申します。出身は鹿児島で、天草に来るのは初めてです。慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



# 2022年 外来診療担当表(11月～)

受付時間: 午前8時30分～午前11時00分 (受付時間は診療科で多少異なります)

診療科		月	火	水	木	金
内科	呼吸器内科	小松太陽		金子篤志 小松太陽		金子篤志
	消化器内科				岩澤秀	岩澤秀
	腫瘍内科	熊野御堂慧 (再診のみ)	熊野御堂慧		熊野御堂慧	
	血液内科		宮家宏定			大 学
	循環器内科				九山直人(大学)	
	代謝内科	吉積臨太郎(大学)				
	二次検査 担当		竹口東一郎	竹口東一郎		
外科	診察	坂本慶太	村上聖一	坂本慶太	(担当医)	村上聖一
	乳腺・その他 検査	竹口東一郎	坂本慶太	村上聖一		
	備考	火・木・金曜日は予約の方のみとなります(新患はお受けできません)。 木・金曜日は乳腺・その他検査が出来ません。第1・3・5木曜日の午前は手術です。				
整形外科		木山貴彦	木山貴彦	真田京一(第1・3・5)	木山貴彦	弓場久嗣
		弓場久嗣	弓場久嗣	森修(第2・4)	斧出大紀	斧出大紀
		斧出大紀				
	脊椎外来			真田京一(第1・3) 受付時間:10:00～15:00		塩川晃章 (第3金曜のみ) 受付時間:10:00～15:00
	備考	手術は毎週水曜日(午前・午後)・第1・3・4金曜日(午後)です。				
脳神経外科		矢野辰志		矢野辰志	矢野辰志	
産科		荒木真佐子	神尾未紗希 匂坂紗乃代	荒木真佐子	神尾未紗希 匂坂紗乃代	荒木真佐子
婦人科		神尾未紗希 匂坂紗乃代	荒木真佐子	神尾未紗希 匂坂紗乃代	荒木真佐子	神尾未紗希 匂坂紗乃代
				片淵秀隆 (第2・4水曜のみ)		
放射線科		担当医	吉住和弘	外村政道 松本忠士(大学) (放射線治療医)	外村政道	担当医 松山知彦(大学) (放射線治療医)
皮膚科		樽美佐央里(大学)		本多教稔		本多教稔
歯科口腔外科		田中拓也	田中拓也	田中拓也	田中拓也	田中拓也
		永尾優果	永尾優果	永尾優果	永尾優果	永尾優果
	備考	午後は13:00～16:00の受付時間です。毎週火曜日・第1・3・5木曜日は午前中手術の為、午後からの診療です。				

◎学会等により休診となる場合もございますので御了承ください。



独立行政法人地域医療機能推進機構

**天草中央総合病院**

〒863-0033 熊本県天草市東町101番地

TEL) 0969-22-0011(代表)

FAX) 0969-24-1808(連携室)

0969-24-2108(医事課)